



# 第17回 日野川への想いを語る会を開催しました!

平成25年2月6日(水)、日野川流域の7市町村長と河川を管理する鳥取県及び国土交通省日野川河川事務所が参加し、日南町総合文化センターにおいて、今回で17回目となる「日野川への想いを語る会」を開催しました。

会に先立って、鳥取大学医学部の祝部(ほうい)講師と日南町住民課の久城(くしろ)室長による「日南町名水調査とおいしい水」と題した特別講演が行われました。

意見交換会では、「日野川流域における水資源の保全について」をテーマとして、様々な取り組みの紹介と今後の課題、また日野川への想いを語っていただきました。出席者は、自然豊かなこの地において日野川は重要な役割を担っており、今後も流域全体が様々な課題に対して連携していくことが大切であるとの認識で一致しました。



意見交換会の様子



意見交換会では、今回幹事の日南町長に議長をお願いしました



森林資源の適切な管理の必要性などについて語られる伯耆町長



かけがえのない日野川の水を次の世代に引き継いで行きたいと語られる日吉津村長



下流域への良質な水資源を供給することが上流部に位置する日野町の責務であると語られる日野町長

## ～意見交換会の内容～

各市町村から、日野川流域の豊かな自然を活かした小水力発電、太陽光発電などの再生可能エネルギー活用の取り組みや地下水保全条例について紹介されました。

一方、流域でのゴミの不法投棄、子供達が川に親しんでいないといった課題や、良質な河川に必要な森林資源管理の必要性についても意見が挙げられました。

平成25年は鳥取県西部地域で全国植樹祭やエコツーリズム国際大会などのイベントが開催されます。これらのイベントを契機とし、今後さらに森林、水、再生可能エネルギーなどの意識を高めていく必要があります。

また、流域圏の繁栄が川で繋がっていることは事実であり、日野川への想いを語る会の大きな意義でもあります。流域圏内の関係機関が連携して日野川を守っていくことが重要であるという認識で一致しました。